

## ◎ You've got to.

「あなたは(それを)しなくちゃいけない」の意で、「何を」なのかが自明のときの表現です。強く勧めるときによく使われます。

「何を」なのかを明言するときは、この後ろに続けます。

◎ (例) ▶ **You've got to see this!**

これは、日本語で「これ、見てよ!」「これ、見て、見て!」などと言う状況のときに使う表現です。

◎ (例) ▶ **You've got to stop!**

「もうやめなさいよー!」

これを言っても聞き入れてもらえないだろうと思える状況でよく使われます。

◎ **you** の部分はもちろん、I や we にも替えられます。

▶ **I've got to go.** 「もう行かなくっちゃ」

これは単に ◎ **Got to go.** とも言います。

このような、文頭の I've を省略するのは、くだけた使い方です。

「もう行かなくっちゃ」は、

◎ **Got to run.**

◎ **Got to split.**

などとも言います。

毎日会っている人が別れ際に、ふつうは「じゃあ、また明日」とはいいませんが、「じゃあ、明日」とはいいません(それでは明日の指定時刻に会う約束があるかのようです)。

英語では ◎ **See you tomorrow.** で、「また」の部分はふつうはありません。

なお、この表現は、文頭の I'll が省略されていて、文字通りの意味は、「私はあなたに明日会います」

## ◎ See you.

[別れ際の挨拶] じゃあね。

文頭の I'll が省略されています。

## ▶ See you after school!

じゃあ、放課後にね。

## ◎ See you soon!

[すぐ再び会う友人に] じゃあ、またね。

文字通りの意味として近いのは「ではまた近々」ですが、この日本語表現は、友人には言いませんね。

## ▶ See you at three o'clock!

じゃあ、3時に!

相手が言っている意味がわからないとき、あるいは、わからないふりをするときに、「何のこと言ってるのかわかりません」を述べる場合、日本語では、自然には「何のこと?」ですが、英語では、

◎ **I don't understand.** (私にはわかりません。私、わかんない。)

「それをするのは正しくない」と思うとき、日本語ではそのようには言わず、「そんなことしちゃダメだ」と言いますが、英語では、

◎ **It's not right!**

文字通りの意味は、「それは正しくない」。

## ◎ Get off it!

〔俗語〕 [横柄な態度やウソに] やめてよ!

## ◎ Wait a minute.

ちょっと待って。

次の例のように、ひとりごとでも使います。

Wait a minute. I know!

ちょっと待てよ。そうだ! [案などを思いついて]

## ◎ Wait for me.

ちょっと待っていて (すぐに戻るから)。

〔追いかけて〕 Wait for me! 待ってー!

## ◎ Wait up!

〔俗語〕 [前に行く人に後ろから呼びかけて] 待って!

## ◎ Relax.

〔緊張している人や、怒ってカッカしている人に〕 まあまあ落ち着いて。

## ◎ Control yourself.

〔怒り出しそうな人に〕 抑えて。

## ◎ Cool off!

Calm down! (落ち着いて) の意。

## ◎ Cool it!

calm down の意の俗語です。ここでの it は怒りや恋の熱。

〔怒っている人に〕 落ち着いて!

〔「彼ってかっこいいー!」などの発言に対して〕 まあ抑えて。

なお、興奮して部屋の中を走りまわって遊んでいる幼児に対しても使います。「気持ちを静めなさい」という意味ですが、この状況で日本語では「静かにしなさい」と言うのが普通ですね。表現習慣が違います。

## ◎ Ease up!

〔怒っている人に〕 まあ、気を静めて。

**Ease up!** ▶ **He's only a child.**

まあ、気を静めて。彼はまだ子供じゃないか。

ここでの only は、それ以上ではない、の意。

同様に、◎ **She's only seventeen.** は「彼女はまだ17歳」

ちなみに、「彼は一人っ子」は、▶ **He's an only child.**

## ◎ Take it easy.

〔口語〕 [怒っている人に] まあ気を静めて。

Be gentle! 「やさしく!」の意もあります。

〔参考〕 ◎ **Easy.** 〔口語〕 [怒り出しかけている人に] まあまあ。

かなり怒っている人に対しては、Easy, easy. Take it easy. のように easy を2回繰り返します。

何かを運んでいる人に「落ち着いて(ゆっくり)」の意でも使います。

## ◎ I know. I know.

[説教されて] うん、うん、わかってるよ。

Amy! You're not supposed to... / I know, I know.

[入ってはいけないと言いつ渡されている部屋に Amy が入っていることに気づいて] エイミー！ ここに入っちゃ…… / わかってる、わかってる。

## ◎ I know!

[いい案を思いついて] そうだ！

## ◎ What'll we do? / I know what!

(私たちは) どうする？ / [よさそうな案を思いついて] そうだ！

## ◎ I've got it!

[思い出しにくいことを思い出して] そうだ！

口語表現です。いい案を思いついたときにも使います。

## ◎ It's hot today. / Don't I know it!

きょうは暑いね。 / 言われなくてもわかってるよ。

▶ **Don't I know it!** は、口語表現です。

## ◎ I don't understand.

[意味や意図が理解できないときの] わからない。

◎ **I don't get it.** (口語表現) ともいいます。  
知らないときの「わからない」は I don't know. です。

## Are you agreeing with us? / ◎ Absolutely!

ぼくたちの意見に賛成なのかい？ / ええ (もちろん)。

Absolutely! は、強い肯定を示す表現です。

Do you want ~? / Absolutely!

～したい？ / うん！

日本語で「うん！」はちょっと弱いですね。

◎ **Are you ready? / Absolutely!** 準備いい？ / ええ (完璧) !

## Can I ~? / ◎ Absolutely not!

～していい？ / 絶対ダメ！

Absolutely not. は、強い否定の表現です。

◎ **Are you kidding? / Absolutely not.** 冗談でしょ？ / 全然。